

様式 8 自己点検評価報告書 (PT)

1	基準 I-1	教育理念・目標・方針
---	--------	------------

◆判定基準

- ① 教育理念・目標・方針が明文化・公表されている
- ② アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーが明文化・公表されている
- ③ アセスメントポリシーが明文化・公表されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

- ①教育理念・目標・方針を明文化し、公表している。
- ②のアドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーについては明文化・公表している。
- ③のアセスメントポリシーについて、明文化・公表している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① : 学生便覧 8 ページ
- ② : <https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>
- ③ : <https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/> (いずれも本校 HP)

◆自己点検評価結果における課題と対応

明文化した教育ポリシーを反映した成果確認を試行錯誤している。その確立を目指していく。

様式 8 自己点検評価報告書

2	基準Ⅱ-1	学科・専攻の長
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 学士の学位を有する者、またはそれに準ずる学識・教育・研修修了者である
- ② 修士の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 博士の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ②を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③の全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学科長は修士の学位を有しており、専門理学療法士である。また、産業翻訳英語講座「医学・薬学英语科」修了している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ①：高知女子大学大学院 人間生活学研究科 人間生活学専攻 修了 (学術) (高女大院人修 93 号)
- ②：専門理学療法士(教育・管理 理学療法) 認定 2017S-07-000037
- ③：産業翻訳英語講座「医学・薬学英语科」修了 (サンフレア・アカデミー 平成 13 年 10 月)

◆自己点検評価結果における課題と対応

専門理学療法士(教育・管理 理学療法) については、2023 年度に更新予定である。

様式 8 自己点検評価報告書

3	基準Ⅱ-2	教員の要件
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

選任専任教員は全員が協会員（JPTA）であり、修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

②③ 学科教員表（専任）
様式 2 - 3

◆自己点検評価結果における課題と対応

現在、博士課程在籍者が 2 名いる。博士の学位があるのは 4 名である。
長期講習会受講修了者は 4 名である。専門・認定理学療法士の資格の更新を含め、より高い教育研修の機会がもてるよう調整していく。

様式 8 自己点検評価報告書

4	基準Ⅱ-3	教員数と教科目
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める教員数が確保され、実習調整者が配置されている
- ② 担当科目に関連する研究業績のある教員が配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①は学科長が務めている。
②：担当科目に関連する研究業績のある教員が配置されている
③理学療法士9名の専任講師がいる。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

③学科教員表 (専任) 様式2-3

◆自己点検評価結果における課題と対応

専門・認定など職能団体での資格取得についてはばらつきがあるため、今後一層の適正配置となるようすすめていく。

様式 8 自己点検評価報告書

5	基準Ⅱ-4	教育の質
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育・研究・研修規程が整備され、専任教員の業績が公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質の向上に向けた研究・研修への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

- ①③高等教育や研修に関する規程が整備されている。
- ②授業評価アンケートを実施し学校HP上で結果が公表されている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①③職員就業規則（令和3年版）P.46以降、教員研修規程（抜粋資料）
- ②土佐リハビリテーションカレッジHP「授業評価アンケート」
<https://www.tosareha.ac.jp/school/enquete/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

各教員が授業評価アンケートの結果を次期授業に生かしている。現在、博士課程在籍者2名おり、研修制度を利用しての病院研修を2名が行っているが、研修研究機会の利用を更にすすめていく。

②のFD、SDについては単発の研修等の取り組みはあるが組織立てて計画的運用はなされていないため、今後取り組む必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

6	基準Ⅱ-5	教育のための予算
---	-------	----------

◆判定基準

- ① 入学料・授業料・実習費等は適当な額である
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 研究活動のための外部資金導入の努力を行っている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

- ・教育上必要な機械器具について指定規則備品を優先するものの、定期点検にて問題のある機械器具については更新をおこなっている。
- ・更新・新規購入の機械器具については、毎年度申請を行い優先度・必要性の観点から選別し計画的に執行している。
- ・図書については毎年度購入のための費用を充て、計画的に購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

③の例：公益信託高知新聞・高知放送「いのちの基金」への採択

◆自己点検評価結果における課題と対応

研究活動のための外部資金導入の努力を今後も引き続きおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

7	基準Ⅱ-6	教育環境
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育目的達成のための環境が整備されている
- ② 校地校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営が実施されている
- ③ 教育環境の確保・充実に向けた中長期計画が策定されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則上必要な法定備品については全て揃えられ、もしくは現在、選定中（超短波治療器、体圧計測装置の2種）かつ定期的にその状況について確認もおこなっている。
定期整備において更新が必要なものについては計画的に購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① :
② :
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

更なる教育環境の確保・充実に向けて、現状を確認しながら計画を策定してく。

様式 8 自己点検評価報告書

8	基準Ⅱ-7	教育設備
---	-------	------

◆判定基準

- ① ガイドラインで定める教室および実習室が整備されている
- ② 教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③ 教育研究内容に対応した機材等が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育上必要な機械器具について指定規則備品を優先するものの、定期点検にて問題のある機械器具についてはこう新をおこなっている。

教員研究室は個室であり、個別指導の場が確保され、学生教育に有効に使用している。

教員研究費を支給しており、教員の教育内容に応じた整備が行えるようにしている。

教員室とは別にセミナー室を設け、個別指導にあたっている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：
②：
③：法定備品台帳（資料）

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも点検などを通して、授業に支障が出ないよう設備管理得をおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

9	基準Ⅱ-8	教材・備品
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 教育上必要な教材・備品及び専門図書・雑誌が必要数確保されている
- ② 適切な規模の図書室（館）を有し、十分な学術情報資料が確保されている
- ③ 講義・演習等に必要な IT 教育機器や文献検索システムが整備され、適切に運用されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

図書蔵書は、8,000 冊を超え、定期購読雑誌もガイドラインの 20 冊を大きく上回っている。図書購入予算を組み、一定の新規図書を購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：
②：様式 6
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも計画的に図書購入を継続し、学生にとって有用な教材・設備の確保に努めていく。

様式 8 自己点検評価報告書

10	基準Ⅲ-1	ハラスメント防止対策
----	-------	------------

◆判定基準

- ① ハラスメントの規程が整備され、公表されている
- ② ハラスメント防止を目的とした研修会が定期的実施されている
- ③ 全教職員、臨床実習施設職員、保護者等への周知・啓発が実施されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

就業規則内にハラスメントについての規程、また懲戒が明文化されている。
ハラスメント防止対策について、職員に対しては相談窓口を設けている。学生に対しては担任、学生支援室が窓口となり対応している。
実習期間中は実習指導者ならびに学校教員が対応できる旨を事前に伝えている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① : 資料 (就業規則 抜粋)
- ② : 学生便覧 P.48 学生相談
- ③ : 令和4年度実習施設指導者会議資料

◆自己点検評価結果における課題と対応

職員のハラスメント教育研修会について企画していたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大で中断している。今後は研修会の再開をすすめていく。

様式 8 自己点検評価報告書

11	基準IV-1	入学者の選考
----	--------	--------

◆判定基準

- ① 選考要項が整備され、公表されている
- ② 学則に定められた学生の定員が守られている
- ③ アドミッションポリシーに基づいた選考が行われている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

入学資格、入学審査の方法について、募集要項に明記され公表されている。また合格者決定にあたっては公正な選抜実施がおこなわれている。

入学定員は守られている。

面接チャートは一定、アドミッションポリシーを反映したものとなっている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① : 令和 5 年度学生募集要項

② :

③ : 土佐リハビリテーションカレッジ HP (<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>)

◆自己点検評価結果における課題と対応

--

様式 8 自己点検評価報告書

12	基準IV-2	生活・学修支援
----	--------	---------

◆判定基準

- ① 生活・学修支援体制が整備されている
- ② 生活・学修支援に関する学生の意見・要望を把握・分析し、適切に実施されている
- ③ 障がいのある学生や留学生に対する支援体制が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学生支援室を中心として、学生の意見の吸い上げを行っている。学生の意見・要望は教務委員会や学科等の単位、または全教員で共有し、支援を行っている。

漢字検定や防災士試験、福祉コーディネーター等の資格取得も、学生支援室と学科が連携し促しを行っている。

障害のある学生に対しては講義・実技時において可能な対応（講義音声の録音）を行うなど学生の希望や障害特性に合わせて対応している

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①：学校パンフレット4ページ
- ②：学校パンフレット6ページ
- ③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

1年入学時から4年卒業時まで、日々の学修、資格取得、就職までの支援を今後もおこなっていく。留学生の受け入れは行っていない。障害のある学生の支援は今後ともおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

13	基準IV-3	教育課程
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムが整備されている
- ② 講義概要、学生便覧が整備・公表され、適正に運用されている
- ③ 教育課程を可視化するなど、修学向上への工夫・改善が見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムを整備した上で、講義概要・学生便覧を整備し、それを遵守した教育を行っている。教育課程は可視化している。
教育課程編成委員会を定期的を開催し、工夫・改善をおこなっている。（資料）

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①②：学生便覧、シラバス（毎年度作成）(<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>)
③：教育課程編成会議 議事録（添付）

◆自己点検評価結果における課題と対応

新カリキュラム下での教育成果を見ながら、必要であれば改訂しながら運用をおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

14	基準IV-4	教育内容
----	--------	------

◆判定基準

- ① 改正カリキュラムが適正に運用されている
- ② 定期的カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

改正カリキュラムに基づいた教育の展開、カリキュラムの検討や見直しは学内で常に意識して行われている。

定期的開催される教育課程編成委員会等を通じ、現カリキュラム内容について検討をおこなっている。

特色ある教育プログラムの例として、地域支援を目的に地域在住の高齢者を招き、学生と教員が共に運営する体操教室の開催し、介護予防の現場体験が積めるよう配慮している。また、南海トラフ地震の発生が予想される、高知に在る学校ならではの教育として、高知県で DMAT 隊員として活躍する理学療法学科卒業生を講師に招き、実習形式の授業を展開している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②：学生便覧、シラバス

②：教育課程編成会議 議事録 (添付)

③：シラバス (P.87 地域リハビリテーション演習 P.87)

土佐リハビリテーションカレッジ HP <https://www.tosareha.ac.jp/information/blog/n9949/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育内容の充実は常に意識しているが、さらに特色のある教育内容を、また学習成果を高める教育方法の導入を検討していく必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

15	基準IV-5	教育方法
----	--------	------

◆判定基準

- ① 講義概要に教育方法を明記し、適切に運用されている
- ② 講義・演習・実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 授業方法の工夫・開発に取り組んでいる

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

講義概要に教育方法を明記し、適切に運用している。また、講義、演習、実習を組み合わせ学生に伝わりやすい教育となるよう工夫している。

近年では、コロナ禍における教育、コロナ後の教育としてリモート授業を取り入れたり、IT機器の活用に取り組んだりしている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①② : 理学療法学科シラバス、土佐リハビリテーションカレッジ HP

③ : 「コロナ禍における遠隔授業の満足度に関連する因子 ―質問紙調査法を用いた横断研究―」
(第34回(2021年)高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 渡邊家泰) (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

さらに特色のある教育内容を、また学習成果を高める教育方法の導入を検討していく必要がある。IT機器を活用した教育は、今後継続して教育方法の工夫をする必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

16	基準IV-6	成績評価
----	--------	------

◆判定基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書を有している
- ② 授業科目内容に合致した（客観的）評価方法により実施されている
- ③ 単位認定、進級・卒業認定、修了認定基準を適切に定め、厳正に適用されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学生便覧には単位認定についての基準、またシラバスにはその方法について明記されている。臨床実習受講前には実習前試験を行い知識と技術習得の両面をみる総合試験を実施している。進級・卒業認定については学生便覧やシラバスに明記された基準に則り適切に行われている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①②③：学生便覧、理学療法学科シラバス（毎年度作成 授業科目の履修については学生便覧 P.25-27）

◆自己点検評価結果における課題と対応

成績評価は明文化され、厳密な運用がされている。評価方法は、学生の負担が過度にならず、学習成果が十分に測定できる方法を今後も点検を続け、実施する必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

17	基準IV-7	臨床教育
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則に基づいた臨床教育が計画・実施されている
- ② OSCE（客観的臨床能力試験）を導入し、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な臨床教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床教育は、指定規則、ガイドライン等に基づき、適正に行っている。臨床実習開始前には、筆記試験・実技試験にて学生の能力の確認を行っている。内容的には、OSCE に準じたものではあるが、評価方法など純粋な OSCE に則ったものではない。

2020 年度入学生より、1 年次に一週間の見学実習、2 年次では 3 週間の臨床評価実習、3 年次では、臨床総合実習 I（7 週間）、4 年次では、臨床総合実習 II（10 週間）と、通所・訪問リハ（一週間）の見学実習の臨床実習を行っている。終了時には、学内にて実習成果報告会、グループ学習にて症例レポートの修正などを行い、実習での経験を整理する機会を設けている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①：学生便覧、シラバス（毎年度作成 実習については 2023 年シラバスでは P.89-P.93）
- ③：「コロナ禍における理学療法学科臨床実習の実践報告-登校制約下に学内代替実習をどう展開したか-」（第 34 回（2021 年）高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 宮本祥子）（添付）

◆自己点検評価結果における課題と対応

コロナ禍後の臨床実習としても、更に時代に即した実習になるよう取り組んでいく必要がある。OSCE による評価は、2023 年度より導入することとなっている。

様式 8 自己点検評価報告書

18	基準IV-8	臨床実習
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が適切な年次に配置され偏りなく実施されている
- ③ 特色ある臨床実習プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床教育は、指定規則、ガイドライン等に基づき、適正に行っている。臨床実習開始前には、筆記試験・実技試験にて学生の能力の確認を行っている。

2020年度入学生より、1年次に一週間の見学実習、2年次では3週間の臨床評価実習、3年次では、臨床総合実習Ⅰ(7週間)、4年次では、臨床総合実習Ⅱ(10週間)と、通所・訪問リハ(一週間)の見学実習の臨床実習を行い、学年に偏りが無いよう実施している。授業内容を考慮し、1年次の学生からも教育効果が十分に出るよう実習内容を組んだり、2年次以降は実習終了時に、学内にて実習成果報告会、グループ学習にて症例レポートの修正などを行い、実習での経験を整理する機会を設けたりしている。コロナ禍も最大限に効果を引き出せる実習を展開した。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ①：学生便覧、シラバス (毎年度作成 実習については2023年シラバスではP.89-93)
- ②③：各臨床実習の手引き
- ③：「コロナ禍における理学療法学科臨床実習の実践報告-登校制約下に学内代替実習をどう展開したか-」(第34回(2021年)高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 宮本祥子) (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

コロナ禍後の臨床実習としても、更に時代に即した実習になるよう取り組んでいく必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

19	基準IV-9	臨床実習施設との連携
----	--------	------------

◆判定基準

- ① 定期的に臨床実習指導者会議を開催し、議事録が共有されている
- ② 実習の前後を含め施設と密な連携が取られている
- ③ 専任教員が適時臨床実習に参加し、指導している

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習指導者会議は年 1 回開催し議事録を共有している COVID-19 発生前は本校で、発生後の 2020 年より web にて)。臨床実習期間中には、初期に一度電話連絡を行い、学生の状況・施設訪問日を決定する。実習中期には、施設訪問を行い、指導者・学生との面談を行い、必要に応じて実習内容の調整をする。実習施設の意向や学生の状況に合わせて、再度訪問する場合もある。専任教員が臨床研修を行っている施設においては、学生の臨床実習場面に参加し、指導している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③：臨床実習指導者会議資料・議事録

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習終了後において、学生の最終的な状況について連絡を取り合う場合もあるが、全ての施設ではない。学生の実習成果は、評価表にて把握している。実習前・期間中のみならず、終了後においてもメールや zoom 等で施設と更に密な連携を取れる仕組みを構築することが望ましい。

様式 8 自己点検評価報告書

20	基準IV-10	臨床実習施設の条件
----	---------	-----------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習が実施されている
- ② 臨床実習施設としての設備・スタッフが備えられている
- ③ 協会認定または病院機能評価等の認定施設が 50%以上確保されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習が実施され、臨床実習施設としての設備・スタッフが備えられている。実習施設依頼の際には、施設区分や領域、部署の規模等について、学生の実習施設に適しているかどうかを学科で見極めた上で依頼を行っている。
協会認定または病院機能評価等の認定施設については約 40%である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③：臨床実習一覧
様式 5 実習指導者

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習施設については、学生に充実した実習環境が提供できるよう今後一層努めていく。病院機能評価等の認定取得は、施設に委ねられている部分があるが、実習依頼の際には認定取得の状況も見ながら確保したい。

様式 8 自己点検評価報告書

21	基準IV-11	臨床実習施設の数と種別
----	---------	-------------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守されている
- ② 各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設が確保されている
- ③ 主たる臨床実習施設が確保されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドライン等で定める基準は遵守している。また、各障害・病期・年齢層を偏りなく経験できる実習施設が確保している。

主たる臨床実習施設が確保されている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②：臨床実習教育一覧表 (様式5-4)

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも、指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守し、各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設の確保に努めていく。

様式 8 自己点検評価報告書

22	基準IV-12	臨床実習指導者
----	---------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則に示す要件を満たすものである
- ② 上記該当で臨床経験 10 年を超える指導が 30%以上
- ③ 上記①該当者で専門認定有資格者が 30%以上

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

実習指導者は指定規則に則っており、臨床経験 10 年を超える指導が 45%以上である。専門認定有資格者は 30%を少し下回っている (20%後半)。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③ : 臨床実習指導者表 (様式 5 - 4)

◆自己点検評価結果における課題と対応

専門認定有資格者は 30%を少し下回っている。令和 5 年度より、土佐リハビリテーションカレッジが「認定理学療法士教育機関」になることから、実習指導者にも資格取得について呼びかけ取得率を上げたい。

様式 8 自己点検評価報告書

23	基準V-1	教育成果
----	-------	------

◆判定基準

- ① 教育成果の点検・評価結果が学生に FB されている
- ② 学業達成率が 80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去 3 年間の平均値）

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

常に教育成果の向上に向けて様々な取り組みを行っている。国家試験受験を見据え、一年次より各教員が数人ずつの学生を受け持ちグループ学習を行うチューター制の導入もその一つである。学業達成率（卒業率）は、2019 年度入学者の 2022 年 3 月卒業時の 4 年卒業率は 91%である。過去 3 年間の新卒者の国家試験合格率は、全国平均値をわずかに下まわった。（全国平均 89.8%、本校の平均 88.9%）

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ①：土佐リハビリテーションカレッジ HP <https://www.tosareha.ac.jp/>
②③：学校関係者評価委員会報告書（2023 年 3 月）<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

学業達成率や国家試験合格率など 100%の達成を目指し、教育方法の更なる改善に取り組むたい。そのため、学業不振者や国家試験不合格者の分析を行い、個別的にも対応できるようにしていく。

入学生が下級生の時から学習サポートを行い、留年者を減少させ 4 年卒業率を向上させられるよう指導方法を行っていく。

様式 8 自己点検評価報告書

24	基準VI-1	社会貢献
----	--------	------

◆判定基準

- ① 個人レベルでの活動が行われている
- ② 学科・専攻レベルで実施されている
- ③ 学校養成施設レベルで組織的に取り組まれている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①②③のうち一つを満たしている
- 3 ①②③のうち二つを満たしている
- 4 ①②③の全てを満たしている

◆◆自己点検評価結果の理由

学科レベルの地域住民への貢献として、大津地区の高齢者を学校に招き、体力測定や学生主導のレクリエーション活動に参加をして頂き、地域の活性化に貢献している。また、学校レベルとして、高知市のオーテピア図書館と連携し、高知市周辺の高齢者や子どもを対象とした体力測定や運動教室を開催している。教員・学生がともに取り組むボランティアとしては、地域の清掃活動、高知県障害者スポーツ大会などや上述の体力測定など積極的に参加を促している。

士会・協会活動への協力としては、高知県理学療法士協会の会長・理事がいることもあり各教員がなんらかの士会・協会活動の運営に協力している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③ : 土佐リハビリテーションカレッジ HP, Instagram、Facebook

(具体例 : <https://www.instagram.com/p/CgI01viD-7F/>

<https://www.instagram.com/p/CStDON7np2Q/>)

① : 高知県理学療法士協会 HP (<http://www.kopta.net/yakuin/>)

② : 理学療法学科シラバス P.87 「地域リハビリテーション演習」

◆自己点検評価結果における課題と対応

コロナ流行期には外部との連携が取りづらく、オーテピア図書館との合同企画の地域貢献事業や、学外での学生ボランティアの募集は中止されていた。今後は積極的に事業を復活させ、新しい活動にも取り組みたい。

様式 8 自己点検評価報告書

25	基準VII-1	内部質保証
----	---------	-------

◆判定基準

- ① 第三者による外部評価を受審し、結果を公表している
- ② 定期的に自己点検評価を実施し、課題改善に努めている
- ③ 学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確立とその活用が図られている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- ② ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による外部評価を受審・公表している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① : HP (<https://www.tosareha.ac.jp/school/reha-educational/>)
② :
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確固たる確立や活用はなされていない。時期が明確に定められた定期的な自己点検評価も確立しているとは言えないため、今後取り組みが必要である。

様式 8 自己点検評価報告書 (OT)

1	基準 I-1	教育理念・目標・方針
---	--------	------------

◆判定基準

- ① 教育理念・目標・方針が明文化・公表されている
- ② アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーが明文化・公表されている
- ③ アセスメントポリシーが明文化・公表されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

- ①教育理念・目標・方針を明文化し、公表している。
- ②のアドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーについては明文化・公表している。
- ③のアセスメントポリシーについて、明文化・公表している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① : 学生便覧 8 ページ
- ② : <https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>
- ③ : <https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/> (いずれも本校 HP)

◆自己点検評価結果における課題と対応

明文化した教育ポリシーを反映した成果確認を試行錯誤している。その確立を目指していく。

様式 8 自己点検評価報告書

2	基準Ⅱ-1	学科・専攻の長
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 学士の学位を有する者、またはそれに準ずる学識・教育・研修修了者である
- ② 修士の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 博士の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ②を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③の全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学科長は、修士の学位を有し、職能団体の認定作業療法士である。教育経験についても10年以上の経験があり、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会を修了している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① : <https://www.tosareha.ac.jp/teacher/ot/satoko-kataoka/>
② : 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会修了証 (添付 1)
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

博士の学位取得を目指し、博士課程後期に在籍中であるため、さらなる研鑽を積んでいく。

様式 8 自己点検評価報告書

3	基準Ⅱ-2	教員の要件
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

作業療法学科教員全員が指定規則で定める基準を遵守し、JAOTに所属、修士以上の学位を有している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

① : <https://www.tosareha.ac.jp/teacher/ot/>
② :
③ : 様式 2-3 学科教員表

◆自己点検評価結果における課題と対応

6名すべての専任教員が、教員講習を順次受けられるよう検討していく。

様式 8 自己点検評価報告書

4	基準Ⅱ-3	教員数と教科目
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める教員数が確保され、実習調整者が配置されている
- ② 担当科目に関連する研究業績のある教員が配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①は学科長が兼任している。
②は研究業績のある教員が配置されている。
③については定数と同数の専任教員数である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① : <https://www.tosareha.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/543548503d9700d07890b0fe6130ccfd.pdf>
② : <https://www.tosareha.ac.jp/teacher/ot/>
③ : 様式 2-3 学科教員表

◆自己点検評価結果における課題と対応

担当科目に関連する研究業績については、部分的に不十分な教員・科目があるため、さらなる研鑽を継続する。

様式 8 自己点検評価報告書

5	基準Ⅱ-4	教育の質
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育・研究・研修規程が整備され、専任教員の業績が公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質の向上に向けた研究・研修への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①③高等教育や研修に関する規程が整備されている。
②授業評価アンケートを実施し学校HP上で結果が公表されている。
③すべての専任教員が、博士号取得済みまたは取得を目指し大学院博士課程に在籍している。また、各種研修会・学会への参加・発表、学術誌への論文投稿など学術活動が非常に積極的である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

① : <https://www.tosareha.ac.jp/teacher/>
② : <https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>
③ : <https://www.tosareha.ac.jp/teacher/>
教員研修規程（抜粋資料）

◆自己点検評価結果における課題と対応

各教員が授業評価アンケートの結果を次期授業に生かしている。
さらに業績を積み、公表内容も常に最新のものに更新するよう努める。

様式 8 自己点検評価報告書

6	基準Ⅱ-5	教育のための予算
---	-------	----------

◆判定基準

- ① 入学料・授業料・実習費等は適当な額である
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 研究活動のための外部資金導入の努力を行っている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育上必要な機械器具について指定規則備品を優先するものの、定期点検にて問題のある機械器具については更新をおこなっている。
更新・新規購入の機械器具については、毎年度申請を行い優先度・必要性の観点から選別し計画的に執行している。
図書については毎年度購入のための費用を充て、計画的に購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① :
② :
③ : 公益信託高知新聞・高知放送「いのちの基金」への採択

◆自己点検評価結果における課題と対応

研究活動のための外部資金導入の努力を今後も引き続きおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

7	基準Ⅱ-6	教育環境
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育目的達成のための環境が整備されている
- ② 校地校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営が実施されている
- ③ 教育環境の確保・充実に向けた中長期計画が策定されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則上必要な法定備品については全て揃えられ、かつ定期的にその状況について確認もおこなっている。
定期整備において更新が必要なものについては計画的に購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① :
② :
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

更なる教育環境の確保・充実に向けて、現状を確認しながら計画を策定していく。

様式 8 自己点検評価報告書

8	基準Ⅱ-7	教育設備
---	-------	------

◆判定基準

- ① ガイドラインで定める教室および実習室が整備されている
- ② 教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③ 教育研究内容に対応した機材等が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育上必要な機械器具について指定規則備品を優先するものの、定期点検にて問題のある機械器具については更新をおこなっている。

教員研究室は個室であり、個別指導の場が確保され、学生教育に有効に使用している。

教員研究費を支給しており、教員の教育内容に応じた整備が行えるようにしている。

教員室とは別にセミナー室を設け、個別指導にあたっている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：
②：
③：法定備品台帳（資料）

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも点検などを通して、授業に支障が出ないよう設備管理得をおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

9	基準Ⅱ-8	教材・備品
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 教育上必要な教材・備品及び専門図書・雑誌が必要数確保されている
- ② 適切な規模の図書室（館）を有し、十分な学術情報資料が確保されている
- ③ 講義・演習等に必要 IT 教育機器や文献検索システムが整備され、適切に運用されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

図書蔵書は、8,000 冊を超え、定期購読雑誌もガイドラインの 20 冊を大きく上回っている。図書購入予算を組み、一定の新規図書を購入している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：
②：様式 6
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも計画的に図書購入を継続し、学生にとって有用な教材・設備の確保に努めていく。

様式 8 自己点検評価報告書

10	基準Ⅲ-1	ハラスメント防止対策
----	-------	------------

◆判定基準

- ① ハラスメントの規程が整備され、公表されている
- ② ハラスメント防止を目的とした研修会が定期的実施されている
- ③ 全教職員、臨床実習施設職員、保護者等への周知・啓発が実施されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

就業規則内にハラスメントについての規程、また懲戒が明文化されている。
ハラスメント防止対策について、職員に対しては相談窓口を設けている。学生に対しては担任、学生支援室が窓口となり対応している。
実習期間中は実習指導者ならびに学校教員が対応できる旨を事前に伝えている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① : 資料 (就業規則 抜粋)
- ② : 学生便覧 P.48 学生相談
- ③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

職員のハラスメント教育研修会について企画していたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大で中断している。今後は研修会の再開をすすめていく。

様式 8 自己点検評価報告書

11	基準IV-1	入学者の選考
----	--------	--------

◆判定基準

- ① 選考要項が整備され、公表されている
- ② 学則に定められた学生の定員が守られている
- ③ アドミッションポリシーに基づいた選考が行われている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

入学資格、入学審査の方法については、募集要綱に明記され公表されている。
また合格者決定にあたっては、公正な選抜実施がおこなわれている。
入学定員は守られている。
面接チャートは一定、アドミッションポリシーを反映したものとなっている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① : 令和5年度学生募集要項
- ② :
- ③ : HP にアドミッションポリシーが公表されている (<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>)

◆自己点検評価結果における課題と対応

--

様式 8 自己点検評価報告書

12	基準IV-2	生活・学修支援
----	--------	---------

◆判定基準

- ① 生活・学修支援体制が整備されている
- ② 生活・学修支援に関する学生の意見・要望を把握・分析し、適切に実施されている
- ③ 障がいのある学生や留学生に対する支援体制が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

課外にチューター制度を設け、少人数指導をおこなっている。
担任制とし、生活・学習支援をおこないやすい環境をつくりあげている。
学生支援室が適宜、学生相談に応じ意見と要望を聴取している。
障がいを持つ学生に対しては要望や障がい特性を踏まえ可能な限り対応している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：学校パンフレット4ページ
②：学校パンフレット6ページ
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

1年入学時から4年卒業時まで、日々の学修、資格取得、就職までの支援を今後もおこなっていく。
留学生の受け入れは行っていない。障害のある学生の支援は今後ともおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

13	基準IV-3	教育課程
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムが整備されている
- ② 講義概要、学生便覧が整備・公表され、適正に運用されている
- ③ 教育課程を可視化するなど、修学向上への工夫・改善が見られる

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムが整備されている。
講義概要、学生便覧が整備・公表されている。
教育課程編成委員会を定期的を開催し、工夫・改善をおこなっている。(資料)

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

- ① :
②: 講義概要、学生便覧は HP で公表されている (<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>)
③ : 教育課程編成会議 議事録 (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

新カリキュラム下での教育成果を見ながら、必要であれば改訂しながら運用をおこなっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

14	基準IV-4	教育内容
----	--------	------

◆判定基準

- ① 改正カリキュラムが適正に運用されている
- ② 定期的カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

改正カリキュラムは適正に運用されている。

定期的開催される教育課程編成委員会等を通じ、現カリキュラム内容について検討をおこなっている。

県立図書館などでの体力測定、公民館などでの体操教室など地域還元型の体験ができるように配慮している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②：学生便覧、シラバス

③：教育課程編成会議 議事録 (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後も講義概要、学生便覧を遵守した教育をおこなっていく。

地域に貢献できる、という教育方針を達成できるよう今後も特色ある教育プログラムを展開できるようにしていく。

様式 8 自己点検評価報告書

15	基準IV-5	教育方法
----	--------	------

◆判定基準

- ① 講義概要に教育方法を明記し、適切に運用されている
- ② 講義・演習・実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 授業方法の工夫・開発に取り組んでいる

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①講義概要には、教育方法や評価方法を明記し、講義概要に沿った授業展開に努めている。
②講義・演習・実習を効果的に組み合わせ、最大限の学習効果を図る努力を行っている。
③学生の興味関心を促し、自ら学ぶ意欲を持たせるような授業方法を開発すべく常に努力している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②：理学療法学科シラバス、土佐リハビリテーションカレッジ HP
③：「コロナ禍における遠隔授業の満足度に関連する因子－質問紙調査法を用いた横断研究－」
(第34回(2021年)高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 渡邊家泰) (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

さらに特色のある教育内容を、また学習成果を高める教育方法の導入を検討していく必要がある。IT機器を活用した教育は、今後継続して教育方法の工夫をする必要がある。

様式 8 自己点検評価報告書

16	基準IV-6	成績評価
----	--------	------

◆判定基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書を有している
- ② 授業科目内容に合致した（客観的）評価方法により実施されている
- ③ 単位認定、進級・卒業認定、修了認定基準を適切に定め、厳正に適用されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①講義概要に評価基準，方法を明記するよう努めている。
②レポートや実技習得状況，授業態度，意欲など，教員の主観的評価に頼らざるを得ない項目はあり，可能な限り客観的視点から説明できるよう，改善する余地がある。
③については，基準に則り，厳正に適用している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①②③：学生便覧、シラバス
②：
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

教員の主観的評価に頼らざるを得ない項目は評価方法の工夫を検討する。それ以外は厳正に運用されている。

様式 8 自己点検評価報告書

17	基準IV-7	臨床教育
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則に基づいた臨床教育が計画・実施されている
- ② OSCE（客観的臨床能力試験）を導入し、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な臨床教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①指定規則と WFOT 基準に則った臨床教育の計画・実施ができています。
②OSCE 形式に近い実習前評価を行っている。本格的な OSCE の導入を検討中である。
③全国の多くの養成施設に先駆けて、すべての実習地で MTDLP を導入した臨床実習を行っている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

①：学生便覧、シラバス（毎年度作成 実習については 2023 年シラバスでは p. 51, 52, 59, 60）
③：「コロナ禍における理学療法学科臨床実習の実践報告-登校制約下に学内代替実習をどう展開したか-」（第 34 回（2021 年）高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 宮本祥子）（添付）

◆自己点検評価結果における課題と対応

コロナ禍後の臨床実習としても、更に時代に即した実習になるよう取り組んでいく必要がある。
OSCE による評価は、2023 年度より導入することとなっている。

様式 8 自己点検評価報告書

18	基準IV-8	臨床実習
----	--------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が適切な年次に配置され偏りなく実施されている
- ③ 特色ある臨床実習プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①②指定規則、ガイドラインで定める基準が年次にバランスよく配置され、偏りなく実施されている。

③すべての臨床実習でMTDLPを用いて、作業療法士としての思考過程を視覚化している。

Covid19の影響で、施設での実習が行えなかった期間は、オンラインを活用した学内演習を行い実習を行った。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①：学生便覧、シラバス (毎年度作成 実習については2023年シラバスではp. 87～92)

②③：各臨床実習の手引き

③：「コロナ禍における理学療法学科臨床実習の実践報告-登校制約下に学内代替実習をどう展開したか-」(第34回(2021年)高知県理学療法学会口述発表 筆頭発表者 宮本祥子) (添付)

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習施設との連携をさらに強化し、時代に即した実習になるよう協力していく。

様式 8 自己点検評価報告書

19	基準IV-9	臨床実習施設との連携
----	--------	------------

◆判定基準

- ① 定期的に臨床実習指導者会議を開催し、議事録が共有されている
- ② 実習の前後を含め施設と密な連携が取られている
- ③ 専任教員が適時臨床実習に参加し、指導している

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ○①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①毎年1回臨床実習指導者会議を開催し、すべての実習施設に議事録を書面で送付している。
②実習前には実習指導者に学生情報を書面と口頭にて事前に伝え、実習中に最低1回の実習地訪問を行っている。
③専任教員は、実習地訪問時などの際に、学生の作成した対象者に関する記録をもとに、アドバイスをを行っている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③：臨床実習指導者会議会議資料・議事録 (添付)
②：
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

学科教員の臨床実習への参加をより強化することを検討する。

様式 8 自己点検評価報告書

20	基準IV-10	臨床実習施設の条件
----	---------	-----------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習が実施されている
- ② 臨床実習施設としての設備・スタッフが備えられている
- ③ 協会認定または病院機能評価等の認定施設が50%以上確保されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①②については、実習施設において、指定規則、ガイドラインに定められた本校の実習の手引きに基づいて臨床実習が行われている。
③協会認定の実習施設は非常に少ない現状である。病院機能評価等については40%台後半である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③：臨床実習一覧
様式5 実習指導者

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習施設の選定にあたっては、病院評価機構の認定施設である、等の状況も踏まえていく。

様式 8 自己点検評価報告書

21	基準IV-11	臨床実習施設の数と種別
----	---------	-------------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守されている
- ② 各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設が確保されている
- ③ 主たる臨床実習施設が確保されている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

様々な疾患、病期を対象として実習ができるよう最大限努めている。
見学実習では、医療提供施設、訪問・通所リハビリテーションだけでなく、それ以外の福祉施設等への実習も経験できるよう施設を確保している。
主たる臨床実習施設が確保されている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① :
② : 臨床評価実習・臨床総合実習 施設一覧 (添付)
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後とも、指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守し、各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設の確保に努めていく。

様式 8 自己点検評価報告書

22	基準IV-12	臨床実習指導者
----	---------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則に示す要件を満たすものである
- ② 上記該当で臨床経験 10 年を超える指導が 30%以上
- ③ 上記①該当者で専門認定有資格者が 30%以上

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- ② ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

①すべての実習指導者が、臨床実習指導者講習会を修了し、指定規則に示す要件を満たしている。
②経験年数 10 年を超える指導者にもスーパーバイズが得られるよう努めている。
③については、指導者としての自己研鑽についても啓発に努めている

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①②③：臨床実習指導者表 (様式 5 - 4)
②：
③：

◆自己点検評価結果における課題と対応

③都道府県士会と共同し、指導者としての資質向上に向けて啓発を行なっていく。

様式 8 自己点検評価報告書

23	基準V-1	教育成果
----	-------	------

◆判定基準

- ① 教育成果の点検・評価結果が学生に FB されている
- ② 学業達成率が 80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去 3 年間の平均値）

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

- ① 本校ホームページに公開することで、学生や教職員のフィードバックを兼ねる。
- ② 各期卒業確定 3 年間の平均卒業率は、80%である。
- ③ 新卒者の直近の国家試験合格率全国平均が 83.8%に対し、本校 OT 学科は過去 3 年間平均 89.7%である。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入（資料は添付）

- ① :
- ②③ : 学校関係者評価委員会報告書（2023 年 3 月）<https://www.tosareha.ac.jp/school/public-info/>

◆自己点検評価結果における課題と対応

合格率 100%を目指して、教育方法をさらに工夫する。そのため、学業不振者や国家試験不合格者の分析を行い、個別的にも対応できるようにしていく。

入学生が下級生の時から学習サポートを行い、留年者を減少させ 4 年卒業率を向上させられるよう指導方法を行っていく。

様式 8 自己点検評価報告書

24	基準VI-1	社会貢献
----	--------	------

◆判定基準

- ① 個人レベルでの活動が行われている
- ② 学科・専攻レベルで実施されている
- ③ 学校養成施設レベルで組織的に取り組まれている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①②③のうち一つを満たしている
- 3 ①②③のうち二つを満たしている
- ④ ①②③の全てを満たしている

◆◆自己点検評価結果の理由

専任教員のうち1名が、県作業療法士協会の副会長、もう1名が理事を務めている。このほか、自治体におけるフレイル予防事業、地域ケア会議、専門家活用事業への参画や、地域住民に対しての健康教室の企画、ボランティアなど多くの貢献をおこなっている。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

①～③ 全て 様式7
 ② :
 ③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

様式 8 自己点検評価報告書

25	基準VII-1	内部質保証
----	---------	-------

◆判定基準

- ① 第三者による外部評価を受審し、結果を公表している
- ② 定期的に自己点検評価を実施し、課題改善に努めている
- ③ 学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確立とその活用が図られている

◆自己点検評価 (該当数字を○で囲む)

- 1 基準を満たしていない
- ② ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による外部評価を受審・公表している。

◆自己評価の根拠となる資料名と表示ページの記入 (資料は添付)

① : HP (<https://www.tosareha.ac.jp/school/reha-educational/>)
② :
③ :

◆自己点検評価結果における課題と対応

学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確固たる確立や活用はなされていない。時期が明確に定められた定期的な自己点検評価も確立しているとは言えないため、今後取り組みが必要である。